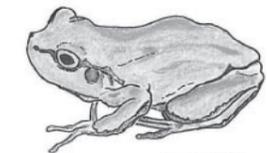


発見! 甲賀の自然

～身近な甲賀の自然から、興味深い話題を紹介します～



アマガエル

甲賀市には、20数種類ものカエルやサンショウウオの仲間(=両生類)がすんでいます。

両生類は、大きく分けて、イモリやサンショウウオなどの有尾類と、いわゆるカ

エルの無尾類があり、すべての種類が、卵と幼生(オタマジャクシ)の時期に、水中で暮らします。そのため、水環境の変化に敏感な生き物です。また、親になると水辺周辺や陸上で多くの昆虫などを食べるため、小さな昆虫などが育つ環境も必要です。したがって、様々な両生類が暮らす環境は、水・陸の生態系

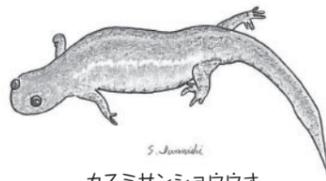


カジカガエル

第4回 がんばれ! 甲賀のカエル・サンショウウオ

の状態が良好なことを示します。

子どもの森の自然館では、7月15日から、特別展「がんばれ! 甲賀のカエル・サンショウウオ」を開催します。生きたカスミサンショウウオを展示するほか、カエルのクラフトコーナーなどもあります。ぜひこの機会にお越しください。



カスミサンショウウオ

問い合わせ **みなくち子どもの森自然館**

☎ 63-6712 ☎ 63-0466

7月の休園日

6日(月)、13日(月)、14日(火)、21日(火)、27日(月)

鳥獣害対策ニュース No.19

今回は甲賀市において年々被害が増加しているアライグマについて紹介します。

●特徴と生態

アライグマの体重は6〜10キロ、全長は60〜100センチほどあり、鋭い牙や爪を持っています。尾には特徴的な黒い縞模様があり、足跡は5本の指の跡が残ります。また、個体によっては気性が荒く、引ついたり、噛みついてくることもあります。メスは1歳で出産し、年に1回、3〜6頭の子を産みますので、爆発的に増えていきます。

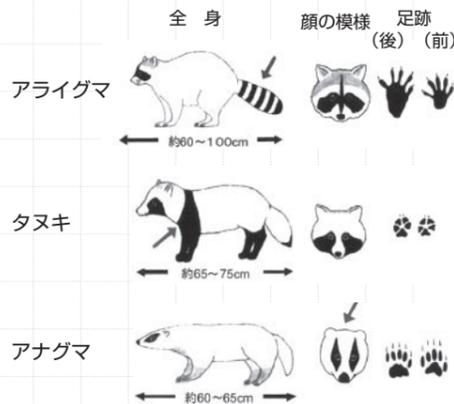
●間違えやすい動物

タヌキはアライグマと姿が似ていますが、指は4本で、足跡もイヌに似ています。前肢から肩にかけての黒い帯が特徴です。

アナグマは家屋へ侵入する点で似ていますが、アライグマが屋根裏に侵入することが多いのに対して、アナグマは床下に侵入することが多いです。耳は小さく先端が丸く、鼻が大きいのが特徴です。

●被害対策

アライグマは、ごみ大の隙間があれば、屋根裏、物置等に侵入することができ、物理的に遮断することが重要です。また、アライグマは特定外来生物に指定されており、生態系に影響を及ぼすおそれもあることから、捕獲を推進することとされていますが、タヌキやアナグマ等日本古来の動物は防除対策を施しているのに被害が低減しない場合以外は捕獲することはできません。いずれも捕獲には許可が必要となります。捕獲する場合は下記までご連絡ください。



問い合わせ **農業振興課 鳥獣害対策係** ☎ 65-0734 ☎ 63-4592

甲賀市の文化財

38

油日神社と甲賀侍衆

このほど油日神社が甲賀侍衆の歴史を伝える貴重な史跡として国指定(甲賀郡中惣遺跡群の追加指定)となることが決まりました。では具体的に、甲賀侍衆とどのような関係にあったのでしょうか。油日神社は「日本三大実録」にもその名が見える古社で、「甲賀一郡之総社」とも呼ばれ、甲賀侍衆からの崇敬を集めていました。

そのことをよく示すものに、本殿再建の巨大な奉加札があり、現在甲賀歴史民俗資料館に展示されています。本殿は滝一族である大勧進由旭の尽力によって明応4年(1495年)に完成したのですが、寄進者を記した奉加札には、殿や公、丸など侍衆と思われる193人の名前がびっしりと記されています。主に貴生川から柚川上流部にかけての多くの侍衆から寄進を受けて建てられたものでした。そして甲賀郡中惣が成立してからは、天正14年(1586年)に郡中惣として100石が永代寄進されるまでになります。

さらに甲賀侍衆とのかかわりは祭礼の中にも見られ、5年に1度、華麗に行われる「奴振り」は、独特の身振り道中を練り歩く芸能ですが、最後に頭殿が馬に乗って境内に入る光景も見逃せません。殿と付くところから侍であることが分かります。この行事は上野の殿様が油日神社に参拝する行事であり、長持ちは頭殿の荷物詰められているのだと伝わります。

また、上野だけでなく、相模、高野、岩室、小佐治からも毎年交代で社参があり、油日祭りに先立ち、お獅子さんが現在の氏子の範囲を超えてそれらの地域まで広く廻るのも、その地域を根拠地とする甲賀侍衆から信仰を集めていたことを物語ると言えるでしょう。

神仏習合時代の面影を残す梵鐘には、元和6年(1620年)、幕府から甲賀組を預けられた郡司山岡図書頭の銘が見られ、このように随所に甲賀侍衆の歴史が色濃く残っているのです。



▲楼門

問い合わせ
歴史文化財課 調査管理係
☎ 86-8026 ☎ 86-8216

介護予防をはじめましょう

高齢者の方のくらしをサポート ~地域包括センター~



地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者の皆さんが、健やかに安心して生活できるように、保健、医療、福祉等多方面に配慮して、皆さんをお手伝いします。

- **高齢者の相談窓口**
高齢者の皆さんやその家族、近隣に暮らす人の介護に関する悩みや問題に対応します。
- **暮らしやすい地域づくりを進めます**
ケアマネジャーや、民生委員、サービス提供事業者、医療機関を含め、様々な関係機関とのネットワークをつくり高齢者の皆さんの生活を支えます。
- **皆さんの権利を守ります**
「お金の管理に不安がある」「近所のおばあさんが虐待を受けている」等、他の専門機関と連携を図り、支援を行います。
- **自立した生活を応援します**
要支援1・2の認定を受けた方の介護予防ケアプランを作成します。
介護予防に取り組みたい方への支援を行います。(要介護、要支援と認定されなかった方、心身の健康に不安があり日常生活に支障が出てきた方など)

問い合わせ **水口地域包括支援センター** ☎ 65-1170 ☎ 63-4591
土山・甲賀地域包括支援センター ☎ 88-8136 ☎ 88-6557
甲南・信楽地域包括支援センター ☎ 86-8034 ☎ 86-5974